



BIOGRAPHY



ジョン F. ニューエル III 大佐 COLONEL JOHN F. NEWELL III

ジョン F. ニューエル大佐（愛称：ジェフ）は在日米軍横田基地第 374 空輸航空団司令官である。太平洋地域における国防総省唯一の空輸航空団の運用、訓練、指揮、統制の責任者である。横田基地は西太平洋の空輸の軸として、米国の前方展開と危機対応を保証するため、使命即応力および基地運用支援を提供している。

ニューエル大佐は、ジョージア工科大学で空軍予備役将校訓練課程を経て 1986 年 8 月に空軍に入隊。運用飛行経験には特殊運用と航空機動を含み、空軍特殊運用軍の MC-130E コンバットテイロン、航空機動軍の C-130H がある。司令官として任命された部隊には、テキサス州ランドルフ空軍基地第 12 運用群（航空教育訓練軍）、テキサス州ダイス空軍基地第 39 空輸中隊 (C-130 部隊) がある。様々な参謀任務経験の中には空軍参謀長チーフグループ、航空参謀戦略計画理事会、米合衆国大統領付き空軍副官がある。ニューエル大佐は、米陸軍指揮幕僚大学と高等空軍力研究米空軍学校を卒業している。



教育

- 1985 ジョージア州ジョージア工科大学、航空宇宙技術学士号
- 1994 アラバマ州トロイ州立大学、国際関係修士号
- 1998 アラバマ州高等航空力研究学校、航空力理学修士号
- 2002 航空戦時大学（通信教育）
- 2007 ニューヨーク州外交評議会空軍上級研究員

職歴

1. 1986年8月－1992年1月テキサス州ローリン空軍基地第47飛行訓練航空団にて T-37 飛行教官、飛行試験官、飛行責任者
2. 1992年1月－1992年7月、アーカンソー州リトルロック空軍基地にて C-130E 初期資格訓練
3. 1992年8月－1996年6月フロリダ州ハルバートフィールドの第 8 特殊運用中隊で MC-130E 飛行教官及び乗務員責任者
4. 1996年7月－1997年6月カンサス州フォートリーヴンワースの米陸軍指揮幕僚大学学生
5. 1997年7月－1998年6月アラバマ州マクスウェル空軍基地高等空軍力研究米空軍学校にて就学

6. 1998年7月－1999年5月バージニア州ペンタゴン米空軍司令部国家防衛再考部専任将校
7. 1999年6月－2000年9月バージニア州ペンタゴン空軍司令部空軍参謀長チーフグループ専任将校
8. 2001年1月－2002年1月テキサス州ダイス空軍基地第39空輸中隊長
9. 2002年2月9日－2004年2月ワシントンDCホワイトハウス米大統領付き空軍副官
10. 2004年3月－2006年7月テキサス州ランドルフ空軍基地第12運用群司令官
11. 2006年8月－2007年6月ニューヨーク州外交評議会空軍上級研究員
12. 2007年7月－現在、横田基地第374空輸航空団司令官

飛行歴

等級： コマンドパイロット

飛行時間： 3,000 時間以上

操縦機種： MC-130E, C-130E/H, T-6, T-37

受章した主な賞と勲章

防衛優秀従軍章 (Defense Superior Service Medal)

勲功章 (Legion of Merit)

勲功従軍章3回 (Meritorious Service Medal with two oak leaf clusters)

昇格歴：

少尉－1986年2月

中尉－1988年2月

大尉－1990年2月

少佐－1996年8月

中佐－2000年5月

大佐－2004年8月

(2007年7月現在)